

平成29年度 第1回宝達志水町文化財保護審議会 会議録

日 時:平成29年 5月24日(水) 午後 3時 ~
場 所:宝達志水町生涯学習センターさくらドーム 21
2階 セミナー室

出席者

委 員 山岸委員、村上委員、秋田委員、末森委員、出倉委員、金山委員
事務局 山岸教育長、村井室長、竹森主事

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委嘱状交付

委員7名(再任6名、新任1名)

4 宝達志水町文化財保護審議会委員の改選について

会 長 出倉一信
副会長 村上吉郎

5 会長あいさつ

6 平成29年度文化財保護事業について(事務局から報告)

(1)国指定文化財関係

・喜多家敷地内の樹木伐採について

重要文化財敷地内において重要文化財建造物・来館者に被害の及ぶ可能性の高い枯死樹木の伐採撤去を行う。

(2)県指定文化財関係

・岡部家敷地内樹木伐採について

荻谷地区要望に対応するため、道路側の樹木伐採撤去を行う。

・末森城跡について

平成28年10月より来訪者用に設置したパンフレットについて、今年度は、地図(縄張)記載のパンフ5,000部を作成設置する予定。

(3) 町指定文化財関係

- ・白が峰、御上使往来について

下草刈りをシルバー人材センターに委託。

6月下旬に公民館事業（ディスカバリーウォーク）を実施する。

(4) 埋蔵文化財センター開設作業・開所式

館内の整理・清掃を実施し、10月に開所式を経て開館予定。

8月中に故「村井一郎」先生の収集遺物を受け入れ予定。

(5) 地域学習への協力依頼について

末森城に限らず地域の歴史について、学校から依頼があれば、学校教育と連携して委員による子どもたちへの学習機会をもてればと考えている。

7 平成29年度能登文化財保護連絡協議会について

- ・自然保護特別委員会現地調査について

期日：9月8日（金） 視察場所：大本山總持寺祖院～古和秀水ほか

- ・能登文化財保護連絡協議会大会について

期日：10月17日（火） 開催場所：輪島市門前会館 大集会室

- ・「能登の文化財」第51輯について

事務局で出稿する。

8 意見交換

出倉会長 要望等があれば、何か意見を

事務局 今年度の文化財パトロールですが、国指定は第1回のパトロール依頼を通知済み。県指定は8月下旬に県から通知が来ますので、パトロールをお願いいたします。環境の悪化、害獣による被害等気が付いたところがありましたら報告をお願いします。

末森委員 喜多家の樹木伐採はいつ頃予定しているのか。

事務局 梅雨時期までには実施したいと考えています。

出倉会長 数年前に文化財保護審議会でも町内にある文化財の視察を行ったと思うが、また、視察を企画してほしい。

事務局 今年度中に視察を実施できるよう検討します。

出倉会長 平成 28 年度は、新しい試みとして村上先生に末森城に関する授業をしていただいた。今後も文化財保護審議会として事業を継続して行ってほしい。

事務局 現在の段階では、相見小学校は、地域の先生にお願いして末森城の学習を継続して行いたいと聞いています。また、志雄小学校は、大伴家持についてお話をしてほしいと聞いています。今後学校から依頼があれば対応していきます。

村上委員 学校独自で行うのはいいが、文化財保護審議会が依頼されて行う地域学習については、学校ごとにテーマを分けけるのではなく、全校同じテーマで講座を行った方がいいと思う。志雄地区・押水地区と分けるのではなく、宝達志水町の歴史を子どもたちに知ってほしい。

事務局 学校から依頼があれば、先生方にはまたご協力のほどよろしく願いいたします。

出倉会長 自然史の分野で要望等があれば、何か意見を。

秋田委員 要望というわけではないが、自然が荒れてしまっていて、生物の生息できるところが減ってきている。例えば、宝達山は、ハコネサンショウウオが全国で 4 例目に発見され、地下水中に産卵することが初めて確認されたところであるが、山林が荒れていることによって、サンショウウオ産卵場所・生息できる環境が少なくなっている。

事務局 サンショウウオに関連して、森本地区のホクリクサンショウウオのビオトープ周辺は、農林水産課の事業で、山林の除草整理事業を実施しますので、生息環境が改善されると期待しています。

事務局 近年、サンショウウオのような希少種を捕りに来るものがあると聞いています。また、宝達山でも坑道の中に入りしている人がいると聞いています。

村上委員 ホクリクサンショウウオを管理しやすいところで産卵させて保護することは可能か。

秋田委員 ホクリクサンショウウオは、いしかわ動物園で繁殖を行っているが、特別な装置がないと難しい。また、県からの特別な許可がいる。
また、周囲に良好な森林がないと生きていけないため、どこでもいいわけ

ではない。森本地区のビオトープは、土地所有者と県土木で協議して、U字溝を設置したもので、ホクリクサンショウウオの生息する環境が整っている。また、民家が近くにあり人目に付きやすく、盗難の恐れは低い環境である。

出倉会長 自然環境のところでは、鉱物の盗難、サンショウウオの生息環境の悪化等が報告された。その他に、要望等があれば何か意見を。

村上委員 末森城跡のパンフレットを作成するのであれば、平成 27 年度に崖下から引き上げた本丸の門の礎石を記載した方が良いと思う。

事務局 現在、案を作成中ですので、本丸の礎石を記載するようにします。

9 閉会あいさつ(副会長)